

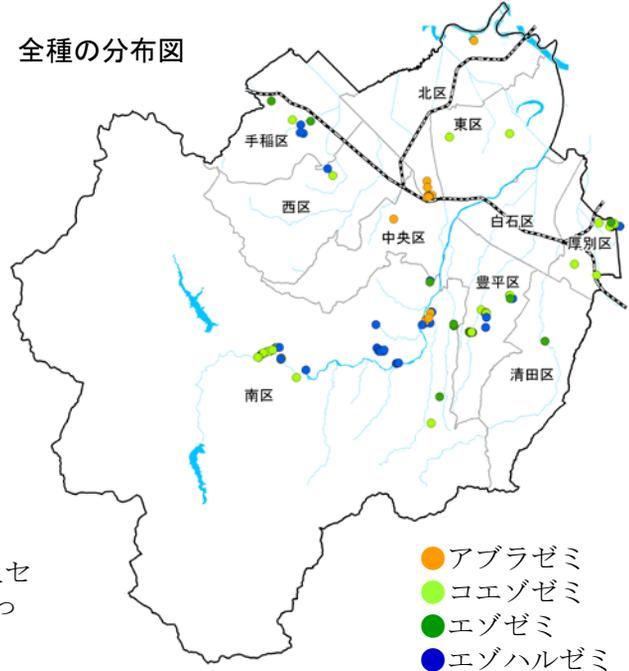
# さっぽろセミ通信

No. 1 (2009. 8. 8) 発行：札幌市博物館活動センター

札幌市博物館活動センターでは市民の皆さんに参加していただいて、2008年から「札幌市セミ調査」をスタートさせ、札幌のセミの生息状況を記録しています。この「さっぽろセミ通信」では調査の途中経過をお伝えしていきます。

あちこちで夏のセミの鳴き声が聞こえるようになりました。場所によって聞こえてくる鳴き声は違いますが、何種類の鳴き声を聞くことができましたか？札幌市博物館活動センターにはたくさんのぬけがらが寄せられるようになりました。今のところアブラゼミ、コエゾゼミ、エゾゼミ、エゾハルゼミの4種が届けられています。ここで現時点（8月8日）の集計結果をお知らせします。

全種の分布図



## 現在の集計結果

見つかった種数：4

寄せられたぬけがらの数：244

採集地点数：108（4種の合計）

この4種は昨年の調査でもよく見られたセミですが、昨年ぬけがらが見つからなかった東区から2つ記録がありました。

## アブラゼミ

寄せられたぬけがらの数：21

採集地点数：17

今年は新たにペケレット湖園（北区）からも見つかりました。平地の公園なら、他の場所からも見つかることが予測されます。



## セミの羽化は観察できましたか？

7月中旬からアブラゼミやコエゾゼミの羽化が始まりました。アブラゼミは7月下旬から8月上旬がピークだったようです。エゾゼミ類はまだ羽化時期が続くと思います。ぬけがらのたくさん付いている木を見つけたら、夕方、見に行ってみてください（安全な場所です！）。幼虫が木を登り、脱皮をして成虫になるところが見られるかもしれません。翅を伸ばしているときの真っ白なセミは非常に美しいものです。



アブラゼミの羽化

### コエゾゼミ

寄せられたぬけがらの数：132

採集地点数：36

昨年は山地でしか見つかりませんでした  
が、東区の住宅地でも発生していることが  
分かりました。



### エゾゼミ

寄せられたぬけがらの数：40

採集地点数：16

コエゾゼミと比べて個体数が少ないよう  
です。主に低山地の森林や公園から見つ  
かっています。



### エゾハルゼミ

寄せられたぬけがらの数：51

採集地点数：39

今年は各地で大合唱が聞かれました。針  
葉樹の植林地で大発生していた場所もあり  
ました。すでに成虫の活動時期は終わり、  
鳴き声は聞こえませんが、一部のぬけがら  
はまだ木に付いているので、今後も見つか  
ると思います。



札幌市博物館活動センター

〒060-0001

札幌市中央区北1条西9丁目

リンケージプラザ内5階

TEL 011-200-5002

FAX 011-200-5003

<http://www.city.sapporo.jp/museum/>

#### 編集後記

今年は昨年より多くのセミが発生し、鳴き声もたくさん聞かれます。ぬけがらの数も多いので、より多くの地点で発生が確認されることでしょうか。ニイニゼミ、ミンミンゼミ、ツクツクボウシ、エゾチッチゼミはまだぬけがらが見つかっていないですが、鳴き声は聞かれています。セミの鳴き声を聞いたなら周辺でぬけがらを探してみましょう。